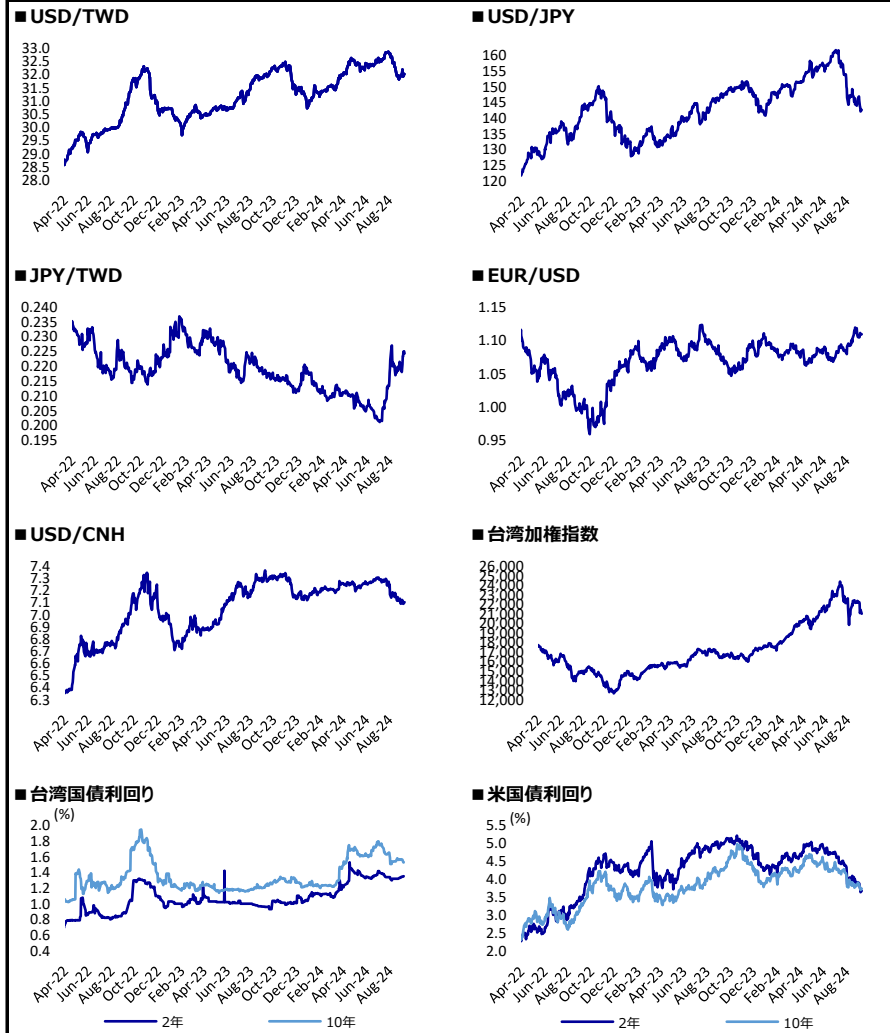


## 市場動向



## 先週の市場動向

■USD/TWD  
先週のドル/台湾ドルは変わらず。週初9/2は31.980でオープン後、前週末海外時間に発表された米7月個人消費支出が堅調な結果となっていたことを受けて、ドル買いが優勢な展開となり32.00台まで上昇。9/3は、外国人投資家による台湾株売りが見られる中、台湾ドル売りが進み32.10台まで上昇。9/4は、前日海外時間に米ハイテク株が急落していたことを背景にリスクセンチメントが悪化。ドル買いが一段と加速し、一時32.208まで上昇した。9/5は、前日海外時間に発表された米7月JOLT求人件が市場予想を下回っていたことを受けて米金利が低下する中、ドル売りが優勢な展開となり32.00台後半まで下落。9/6は、ドルの先安感が強まる中、外資によるドル売りや、輸出業者による外貨売りが見られる展開となり一時31.905まで下落した。最終的には前週比概ね変わらずの31.926で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式売り越し額は1,440.0億台湾ドル。

■USD/JPY  
先週のドル/円は下落。週初9/2は146.20でオープン後、米国休日となる中、動意に乏しく146円台で揉み合いの推移。9/3は、日銀の植田総裁より「引き続き政策金利を引き上げ金融緩和の度合いを調整する」とのスタンスが示されたことや、米8月ISM製造業景況感指数が市場予想を下回る結果となったことを受けて円買いが進み、145円台まで下落。9/4は、日経平均の大幅な下落を受け、リスクセンチメントが悪化し円買いが継続。海外時間に発表された米地区連銀経済報告において経済活動が横ばいまたは減速との評価が示されると、円買いが加速し143円台後半まで下落。9/5は、週末に米重要指標の発表を控える中、様子見姿勢が強まり143円台で揉み合いの推移。9/6は、海外時間に発表された米8月雇用統計において、非農業部門雇用者数の伸びが市場予想を下回る結果となったことを受けて、円買いが進み一時141.75まで下落した。最終的には前週比2.8%ドル安円高の142.17で先週の取引を終了。

## 今週の見通し

■USD/TWD 予想レンジ：31.850-32.150  
今週は揉み合いの推移を見込む。米重要指標の発表を終え、中銀イベントが翌週以降に控える中、様子見姿勢が強まり方向感に欠ける推移となるであろう。

■USD/JPY 予想レンジ：141.50-144.50  
今週は揉み合いの推移を見込む。中銀イベントを翌週以降に控える中、様子見姿勢が強まりやすいであろう。

## 今週の予定

|            |                          |
|------------|--------------------------|
| 9/9 (MON)  | 日第2四半期GDP、台湾8月貿易収支       |
| 9/10 (TUE) |                          |
| 9/11 (WED) | 米8月CPI                   |
| 9/12 (THU) | 日8月企業物価指数、ECB、米8月PPI     |
| 9/13 (FRI) | 米8月輸入物価、米9月ミシガン大消費者景況感指数 |

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。